

平成29年度採用

青梅市立総合病院 初期臨床研修医募集要領

1 応募資格

第111回医師国家試験を受験する者で、医師臨床研修マッチングに参加登録する者

2 応募方法

次の書類を添えて、応募締切日までに郵送または持参にてお申込みください。

当院所定の書式のもの	○ 採用試験申込書（当院ホームページからダウンロード）
ご用意いただくもの	○ 卒業（見込）証明書 ○ 成績証明書 ○ 健康診断書 ○ 82円切手を貼付したあて先明記の返信用封筒（長形3号）…試験通知送付に使用します。

3 応募締切日および申込先等

(1) 応募締切日

持参申込の場合…平成28年7月29日（金）午後5時まで

郵送申込の場合…平成28年7月29日（金）消印有効

※普通郵便で郵送した場合の事故については、責任を負いかねますので、簡易書留郵便でお送り願います。

(2) 申込先等

〒198-0042

東京都青梅市東青梅4丁目16番地の5

青梅市立総合病院 管理課庶務係 臨床研修事務担当：大野

Tel：0428-22-3191 内線5235

e-mail：div9510@city.ome.tokyo.jp

4 選考日および選考方法等

選考日	平成28年8月25日（木）、平成28年8月26日（金） いずれかの日を受験すること ※試験時間は午前9時から午後5時までを予定
選考方法	筆記試験および面接試験
募集人数	9名
選考結果	研修医マッチングの結果、マッチングが成立した方だけに文書で通知します。
研修期間	平成29年4月1日から2年間

5 身分および待遇等

身 分	青梅市病院事業嘱託職員
給 与	月額給与 1年目 335,900円、2年目 363,900円 (給与改定があった場合、この限りでない。)
諸 手 当	通勤手当、宿日直手当
勤 務 時 間	基本的な勤務時間 午前8時30分～午後5時15分
休 暇	有給休暇 年12日 夏季休暇等 なし 年末年始休暇 12月29日～1月3日(ただし、救命救急センターで、当番制で宿日直有)
宿日直回数	月平均 約7回
各 種 保 険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険加入
健 康 診 断	年1回実施
職 員 住 宅	希望者は入居可 [付帯設備] エアコン、冷蔵庫、乾燥機付洗濯機、TV、ベッド、ユニットバス、インターネット回線(ADSL回線)、IHコンロ、オートロックシステム等
そ の 他	当院就業規程に準ずる。

6 病院見学・実習

原則、全診療科について随時受け入れております。

見学・実習を希望される方は、日程および診療科をご検討の上、希望日の2週間以上前までにお申込みください。

(見学お申込み方法)

当院ホームページの「研修医の方へ」の関連メニューの初期臨床研修内「病院見学について」をご確認のうえお申込みください。

病院の概要

- 1 所在地 東京都青梅市東青梅4丁目16番地の5
- 2 開院日 昭和32年11月15日
- 3 開設者 青梅市長
- 4 事業管理者 原 義 人
- 5 病院長 原 義 人

6 病院理念

私たちは、快適で優しい療養環境のもと、地域が必要とする高度な急性期医療を、安全かつ患者さんを中心に実践します。

7 運営の基本方針

清 潔…私たちは、清潔な病院づくりに努力します。

親 切…私たちは、親切な病院づくりに努力します。

信 頼…私たちは、信頼される病院づくりに努力します。

自 立…私たちは、自立できる病院づくりに努力します。

8 認定・表彰

- (1) 平成26年2月7日 日本医療機能評価機構の病院機能評価の更新・認定
- (2) 平成15年度・平成26年度の自治体立優良病院として総務大臣表彰を受賞
- (3) 平成14年度・平成24年度の自治体立優良病院として全国自治体病院開設者協議会・(社)全国自治体病院協議会両会長表彰を受賞
- (4) 平成14年11月12日 癒しと安らぎの環境フォーラムの主催する第1回「癒しと安らぎの環境賞」病院部門の最優秀賞を受賞

9 外来受付時間および面会時間

	外来受付時間	面会時間
平 日	午前 8:00～午前 11:30	午前 11:30～午後 1:00 午後 3:00～午後 8:00
土 曜 日	救急外来を除いて休診	午前 10:00～午後 8:00
日曜日・祝日		

10 職員数（平成28年4月1日現在）

（単位：人）

職務名		職員数	職務名		職員数			
医師	医師 (専・研修医・非常勤含む。)	147	事務・技術	一般事務	25			
	歯科医師	1		医療事務	10			
医療技術	薬剤師	27		救急救命士	救急救命士	6		
	管理栄養士	5	電気技術		1			
	診療放射線技師	21	技能	電気・ボイラ技師	1			
	臨床検査技師	28		調理師	11			
	理学療法士	5	労務	一般用務	0			
	作業療法士	3		給食作業	4			
	言語聴覚士	2		看護補助	0			
	視能訓練士	視能訓練士	2	小計(行政職計)				
		臨床工学技士	11					
		医療技術	0					
助産師		442						
看護師								
准看護師								
小計(医療職計)		694	小計(行政職計)				58	
総計			752					

11 病床数 総数 562 床

【内訳】一般 508 床 (ICU6,CCU2,NICU3 床を含む。)、精神 50 床、感染症 4 床

病棟	病床数	病床種別	担当診療科
東3病棟	24	一般病床	小児科
東4病棟	50	〃	泌尿器科、眼科、外科、皮膚科、 歯科口腔外科、リウマチ膠原病科
東5病棟	50	〃	呼吸器内科
東6病棟	50	精神病床	精神科
西3病棟	55	一般病床 (NICU3)	産婦人科、小児科 (新生児・NICU)
西4病棟	51	一般病床	外科、呼吸器外科
西5病棟	51	〃	消化器内科、緩和ケア
南1病棟	48	〃	神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科
南2病棟	49	〃	整形外科、内分泌糖尿病内科、 耳鼻咽喉科
	4	感染症病床	
新4病棟	50	一般病床	循環器内科、心臓血管外科
新5病棟	50	〃	腎臓内科、血液内科
救急センター	22	一般(救急病室)	救急科
	8	一般(ICU6・CCU2)	
13看護単位	562		

12 標榜科目 全 29 科目 () は医師数 (専修医は含み研修医は除く。)

内 科 (1)	呼吸器内科 (8)	循環器内科 (11)	消化器内科 (8)	血 液 内 科 (4)	内分泌糖尿病内科 (4)
腎 臓 内 科 (5)	神 経 内 科 (3)	リウマチ科 (3)	外 科 (10)	呼吸器外科 (1)	心臓血管外科 (2)
整 形 外 科 (4)	脳神経外科 (4)	化学療法外科 (1)	精 神 科 (5)	小 児 科 (7)	皮 膚 科 (2)
泌 尿 器 科 (3)	産 婦 人 科 (9)	眼 科 (3)	耳鼻いんこう科 (3)	リハビリテーション科 (兼 1)	放 射 線 科 (4)
病理診断科 (2)	臨床検査科 (1)	救 急 科 (5)	麻 酔 科 (7)	歯科口腔外科 (1)	

13 その他

臨床工学科、栄養科、薬剤部、地域医療連携室、中央手術室、中央材料室、中央注射室、内視鏡室、心臓カテーテル室、血液浄化センター、救命救急センター、PET・RIセンター、外来治療センター、脳神経センター

14 入院・外来患者数

		平成 27 年度 (A)	平成 26 年度 (B)	増 減	
				(A) - (B)	率
入院	一日平均患者数	423.2 人	432.5 人	▲9.3 人	▲2.15%
	年間患者数	154,873 人	157,878 人	▲3,005 人	▲1.90%
外来	一日平均患者数	1,322.4 人	1,303.4 人	18 人	1.38%
	年間患者数	321,337 人	318,026 人	3,311 人	1.04%

15 医療圏

東京都の保健医療圏 (13 地区) のうち、西多摩保健医療圏 (4 市 3 町 1 村) における中核病院として人口約 40 万人を担っており、また、東京都の救急医療体制において、西多摩保健医療圏で唯一の三次救急対応の救命救急センターを併設し、高度専門医療と救命措置にあたっております。

さらに、災害時における東京都災害時後方医療施設として指定されているほかエイズ患者が安心して医療を受けられるための拠点病院としても指定を受けております。

16 診療指定

保険医療機関、労災指定、母体保護法指定医、生活保護、身体障害者指定医、指定自立支援医療機関 (精神通院医療・育成医療・更生医療)、原子爆弾被爆者一般疾病医療機関、結核指定医療機関、養育医療機関、救急告示、救命救急センター、その他 (人工透析)、育成医療指定、児童福祉法指定、エイズ診療協力病院 (拠点病院) 指定、第 2 種感染症指定医療機関、地域がん診療連携拠点病院指定、DPC 対象病院、東京都災害拠点病院、東京DMAT

指定病院、東京都脳卒中急性期医療機関、東京都CCU連絡協議会加盟施設、ステントグラフト実施基準管理委員会実施施設、症候群別サーベイランス協力医療機関指定、指定小児慢性特定疾病医療機関、難病医療費助成指定医療機関

17 教育指定

医師の臨床研修病院に指定されているほか、各学会の認定研修施設等としても指定されています。

また、東京都立青梅看護専門学校および武蔵野大学・東京家政大学の看護実習病院として看護実習を受け入れているほか、その他の医療技術職養成機関の実習（薬剤師、臨床検査技師等）の受け入れも行っております。

18 敷地面積 22,734.42 平方メートル

19 建物概要

名称	規模・構造	面積(m ²)	建築年月
西棟	鉄筋コンクリート造地下2階地上6階建	9,479	昭和54年5月
東棟	鉄筋コンクリート造地下2階地上6階建	10,009	昭和56年8月
南別館	鉄筋コンクリート造地下1階地上3階建	1,135	昭和58年3月
南棟	鉄筋コンクリート造地下2階地上4階建	6,189	平成2年3月
南連絡棟	鉄骨造地上3階建	542	平成2年3月
新棟	鉄筋コンクリート・鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上6階建屋上ハコポット	18,063	平成12年3月
PET・RIセンター	鉄骨造地上1階	319	平成18年3月
構内医師住宅 (CASA DOCTORAL)	鉄筋コンクリート造地上4階	1,575	平成14年3月
その他		496	

初期研修の概要

- (1) 救命救急センターの救急科医師指導の下、1次～3次救急の経験（通年救急当直）が豊富であり、一般的疾患から特殊疾患までプライマリーケアの研修環境に恵まれている。
- (2) 内科が全科（総合内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・血液内科・内分泌糖尿病内科・腎臓内科・神経内科・リウマチ膠原病科）揃っており、広範な研修が可能
- (3) 通年の小児科当直業務（救命救急センター）により小児科プライマリーケアの研修環境も充実
- (4) 2年次の選択科枠は、内科系・外科系を含むほぼ全診療科（29診療科）が研修可能であり、幅広い初期研修選択が可能
- (5) 臨床研修指定病院、日本内科学会認定内科専門医教育病院、日本外科学会専門医修練施設等24の教育指定・認定を持ち、地域がん診療連携拠点病院指定等、18の診療指定病院でもある。
- (6) 一般508床（ICU6床、CCU2床を含む）、精神50床、感染症4床、計562床を有しており、医師総数145名、年間延べ入院患者数約17万人、年間延べ外来患者数約32万人の西多摩地域の基幹病院
- (7) 初期臨床研修医は1年次13名（単独型9名、東京医科歯科大学協力型3名、島根大学協力型1名）、2年次13名（単独型9名、東京医科歯科大学協力型3名、島根大学協力型1名）計26名が在籍
- (8) 構内医師職員住宅（CASA DOCTORAL）が完備され、付帯設備も充実しており、研修に専念できるように配慮している。臨床研修医は優先的に入居可能
- (9) 毎月、招聘感染症専門医による講義

必修科

【内科系】

9内科（総合内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・血液内科・内分泌糖尿病内科・腎臓内科・神経内科・リウマチ膠原病科）が揃っており、各学会認定指導医の下、大学病院と同等の内科全領域の研修が可能です。

1年次は経験・研修の幅を広げる意味から2科併診（2ヵ月単位）の形態で3グループ、6内科を研修します。2年次に選択で希望する内科の研修を追加することも可能です。

内科入院は全入院患者数の約45%を占め、豊富な症例数から経験すべき症例を中心に担当するため充実した研修（基礎疾患から高度医療まで）が可能です。また、救急当直を通して内科のプライマリーケア研修環境も整っており研修医から好評を得ています。

【救急科】

救急科医師5名が在籍し、1次～3次救急に対応しています。

西多摩地区（青梅市、羽村市、福生市、あきる野市、奥多摩町、瑞穂町、日の出町、檜原村）で唯一の救命救急センター。東京都内のみならず、埼玉県（入間市、飯能市）や山梨県（北都留郡小菅村、丹波山村）からも救急車を受け入れています。西多摩地区は、人口約40万人の地域で、ほとんどが山岳地帯です。地区内に急性期病院が少ない一方、療養型病院・介護老人保健施設・特別養護老人施設等が多いのが特徴です。また、直近の救急センターまで救急車で30分以上かかるため、救急搬送において総合病院併設型がある当センターへの依存度が年々高くなっています。平成27年度は、年間約15,000人の救急患者を扱い、約4,300台の救急車を受け入れています。

当院における初期臨床研修では、救急科は1年次と2年次に各1ヶ月必修です。開院時間内の救急車搬送患者と救急科入院患者を担当します。救急科入院症例は、多発外傷や薬物中毒、蘇生後脳症、熱傷が主です。

加えて2年間を通じた救急科医師指導下での救急当直（1・2年次各1名、少なくとも1回/週）を行っており、当院の初期臨床研修の特徴でもあります。救命救急センター受診患者全員の初療を担当し、自力で問診し、身体所見を取り、必要であれば検査をします。常に救急科指導医がそばにいますので、いつでも相談可能で、指導を受けることができ、経験すべき症例を含めプライマリーケアの十分な経験と研鑽の基となっています。

救急科医師によるACLS&外傷初期診療講習を含む講義を月に3回約1時間実施しています。ACLS用人形、訓練用AED、除細動付きモニター、気管挿管練習用人形、中心静脈穿刺練習人形が揃っており、使用されていない病室を“スキルラボ”にして心肺蘇生講習やトレーニングを行っています。実際に使用している病室と同じ構造ですので、入院患者への緊急対応を正確にシミュレーションすることができます。狭い病室で心肺蘇生を確実に行うことの難しさが実感できます。

【地域医療】

西多摩保健医療圏内の病院、診療所で研修を行い、高齢化社会と地域医療の現状が研修できます。

選択必修科

【外科系】(外科・胸部外科・整形外科、2～3ヶ月)

外科：年間の総手術件数は約900件～1,000件で各領域の癌や動脈瘤等の血管外科等頸部から下肢まで幅広く担当します。モットーは「確実でしかも先進技術を取り入れた外科」です。活気に満ちた毎日であり、やる気のある臨床研修医を歓迎します。

胸部外科：冠動脈バイパス術や人工血管置換術、心臓弁膜症手術等を年間約80件～90件、肺癌、胸腔鏡下手術の肺手術等を年間約60件～70件行っています。

整形外科：救急で多く目にする骨折・脱臼などの外傷や、四肢体幹の疼痛、しびれといった「運動器」の外傷、変性、腫瘍、骨系統疾患などを治療対象とします。当院でも老若男女、多彩な疾患を対象とします。東京医科歯

科大学整形外科と連携、脊椎外科、手外科専門班スタッフの指導のもと、救急外傷の現場、超高齢化社会における「健康寿命の延伸」を目的とする外来、入院診療の現場を研修してください。手術は、大腿骨近位部骨折、橈骨遠位端骨折などの外傷や、脊椎脊髄手術が中心で、年間300～400件行っています。救急も含めた、基本的な外来診療手技の習得（四肢、脊椎の診察方法、画像撮影指示・読影法、関節穿刺、関節内注射など）や四肢外傷の初期治療方法を中心に指導します。

【麻酔科】

麻酔科管理症例数は年間約 2,100 例です。小児外科を除く、ほとんどの科の症例を経験することができます。地域的に高齢者の症例が多く、合併症を有する重症例が多いのが特徴です。また、西多摩医療圏の中核病院であり、緊急手術もたくさんあります。1年次は主に気管内挿管と全身麻酔の管理、2年次には硬膜外麻酔や脊髄くも膜下麻酔を中心に研修を行います。

【小児科】

西多摩地区で唯一の小児休日全夜間診療救急病院です。24 時間 365 日、1 次～3 次救急対応をしており、1 年次より全員小児科救急に準夜当直として参加しプライマリーケア研修を行っています。当初より研修医が積極的に取り組んでくれており好評です。研修では、ほとんどの common disease や急性疾患を経験できます。また、地域の中核病院であることから相当数の教科書に載るような典型症例が混ざっておりモチベーションを保てます。お産は年間約 800 余件あり、新生児・未熟児医療も研修できます（2 年次）。

また、小児科専門外来も東大小児科からの応援で充実を図っています。毎週金曜日の朝にクルズスを設け、小児科診療の初期研修オリエンテーション、レクチャーや救急外来で経験した症例の検討・勉強を行い、年間を通して小児科学の研修を継続しています。

【産婦人科】

産科：分娩件数は年間約 800 余例、小児科と連携しハイリスク妊娠にも対応しています。正常分娩から異常分娩まで幅広く研修ができます。

婦人科：子宮筋腫や卵巣嚢腫等良性疾患から悪性腫瘍まで幅広く治療し、年間手術件数は腹腔鏡下手術を含め 400 件を超えます。東京都の周産期連携病院、がん診療連携拠点病院として、産科・婦人科ともに充実した研修体制が整っています。

【精神科】

閉鎖病棟 50 床（うち保護室 4 床）で重症例を含めさまざまな疾患に対応しています。特に総合病院の特徴から精神疾患と身体疾患の総合医療が可能です。

＜研修プログラム例＞

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	呼吸／膠原		循環／腎内		消化／血液		救急	選択必修①			選択必修②	
2年次	救急	地域	選択必修③		選択科（1科：最大3ヶ月）							

* 1年次の内科は、この他に、神内／内分泌糖尿の組合せがあります。

* ローテーションは研修医間で調整し決定します。

* 1年次5ヶ月、2年次10ヶ月のうち、選択必修科のうち少なくとも3科を計5ヶ月以上研修しなければなりません。